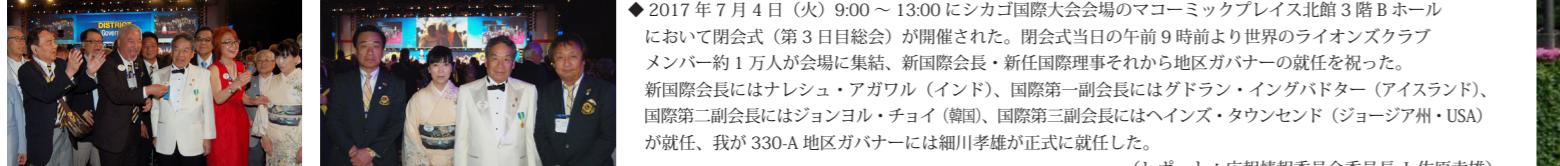




第100回 シカゴ国際大会レポート



- ◆ 2017年6月30日（金）第100回シカゴ国際大会が開幕した。会場であるマコーミックプレイス会場グランドボールルームにおいて100周年記念セミナーが開催され、世界の8つの地域より代表各1名がそれぞれの記念事業についてプレゼン、330-A地区村木ガバナーは東洋東南アジア地域を代表して薬物乱用防止大パレードについてパワーポイントを使用し英語で発表を行なった。
- ◆ 大会2日目の7月1日（土）にインターナショナルパレードがシカゴ中心部の目抜き通りであるステーツ通りで開催された。世界の約200以上の国と地域のそれぞれの代表団によりバスバンド、クラシックカー、ユニフォーム、民俗衣装、民俗舞踏などの趣向を凝らしたパレードが朝9時より午後1時過ぎまで4時間以上にわたり繰り広げられた。当日早朝より地元テレビ局のニュースでこの日のシカゴの主要行事として予告され、沿道には多くの観客がパレード開始前より陣取っていた。



（レポート：広報情報委員会委員長 L 佐原幸雄）

330-A地区キャビネット事務局 2017年8月7日(月)より下記に移転

<キャビネット事務局・新事務所>

〒169-0074 東京都新宿区北新宿1-36-6 ダイナシティ西新宿1階
電話: 03-5330-3330 Fax: 03-5330-3370 E-mail: cab@lions330-a.org
※電話・Fax・E-mailに変更はありません。

最寄駅: 東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅徒歩7分



LIONS NEWS

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ニュース

2017 JULY extra news



細川ガバナー インタビュー



細川孝雄ガバナー

- 1) 今期のガバナーズ・スローガンについてお聞かせください。
「100周年極めよう 奉仕の心 We Serve」です。国際会長のテーマは「We Serve」です。
それと同様に原点に帰って基本に戻りたいと考えます。
- 2) ガバナーズ・テーマについてもお聞かせください。
「創造しよう 新しい未来を ゼロトゥーワン」です。無から有を作り出すつもりで、会員増強・指導力育成・社会奉仕に取り組みます。
- 3) ガバナーズ・カラーの深緑についてその意味をお聞きしたいと思います。
今期は特に環境問題に取り組みます。そのシンボルカラーである緑を連想させるものです。
- 4) 前期よりの 100周年記念事業について具体的にお聞かせください。
前期より引き継いだ事業である100周年記念誌を完成、発刊します。また、100周年を記念して330-A 地区発信のライオンズクラブ・ソングを地区内及び他地区、一般からも公募して作り上げたいと思います。
- 5) 環境問題についてのお考えをお願いします。
今回の国際大会でも基調講演でアル・ゴア元副大統領が問題提起を行っていました。
環境問題は喫緊の課題として取り組みたいと考えます。

- 6) 災害への取り組みについていかがですか。
九州北部豪雨災害については早急に義援金募集を行い、また支援物資等のサポートも行いたい。
アメリカでもカリフォルニアで大規模な山火事、テキサスでは洪水等も起きているが、
これらも同様に環境問題すなわち地球温暖化の一環であると思います。
- 7) 細川期のメインの行事は何でしょうか。
ライオンズクラブ・ソングの公募、環境シンポジウム（10月7日）、フジコ・ヘミングチャリティコンサート（12月1日）の開催をメインに考えています。
- 8) 会員増強についての取り組みはいかがですか。
新会員1,000名増強、クラブ・エクステンション4クラブという今期目標を国際協会本部に宣言しました。
- 9) 最後に、地区全メンバーに一言お願いします。
ライオンズクラブ100周年の今年を最高の年にするように努力しますので、ご協力よろしくお願いします。

参加者：細川孝雄ガバナー、谷山光俊キャビネット幹事、荻野桂一キャビネット会計
聞き手：広報情報委員会委員長 L 佐原幸雄
写 真：L 吉岡晋



キャビネット構成員 2017-2018 330-A

